

千代田区キャンパスコンソ・千代田区商工業連合会 連携事業

「ぶらちヨダ」 メンバー募集要項

千代田区キャンパスコンソ

ぶらチヨダとは・・・

- 千代田区キャンパスコンソの学生が、千代田区内の地域文化資源を歴史・文化・芸術・海外交流・ビジネスといった切り口で「調べて、行って、聞いてきた」特集レポートページです。
- 日々通学している千代田区の新たな魅力を学生目線で紹介しています。



◎過去のシリーズは「ぶらチヨダ」で検索
<https://www.chiyoda-event.com/burachiyoda>

- ① 千代田区内にある地域文化資産の取材
- ② 取材内容の記事執筆
- ③ 取材や執筆のためのレクチャ・ワークショップ

- ※ 取材先は「テーマ・取材先(予定)」のページをご覧ください。
- ※ メンバーの取材先は希望をもとに決定します。希望した取材先にならない場合があります。

- **地域の魅力を知る**
千代田区内の地域文化資産に触れ、その魅力を深く理解することができます。
- **「発信力を高めるインターンシップ」**
専門スタッフからアドバイスを受けながら、取材やライティングなどのノウハウを学び、実践することができます。
- **地域活動への参画**
ウェブサイトを経由した地域コミュニティ活性化の取組みに参画することができます。
- **他大学の学生との交流**
大学や専攻が異なる学生と協同して1つのモノを創り上げることを通して、交友関係を広げることができます。

活動スケジュール(予定)

10月	上旬 参加メンバー・コース決定 中旬 ワークショップ①
11月	上旬 ワークショップ② 中旬～ 取材・ライティングなど
12月	上旬～ 原稿チェック・修正など
1月	(最終チェック)
2月	(webサイト公開)

- 実活動期間は10月中旬～12月末(予定)です。
- ワークショップの日程は参加メンバーの都合を踏まえ調整・決定します。

ワークショップ

全2回（各2～3時間）

- オリエンテーション
- チームビルディング、役割分担
- 千代田区と取材先の関わり、競合・類例などを調査
- チーム合議による取材テーマ策定
- コンセプトワークシート作成
- 取材依頼書・質問項目書の作成



<役割分担例>
・進行管理
・撮影（カメラ）
・取材時の聞き手
・録音
・記事をまとめる人



フィールドワーク

取材：1日（2時間程度）
記事作成期間：2～3週間

- 取材実施
- テープ起こし作業
- 記事要素抽出
- ライティング
- 取材先原稿チェック
- 修正



記事掲載

最終データ入稿後、
約2週間後

- webサイト掲載準備
 - ・写真セレクト
 - ・最終記事チェック
- webサイト公開

千代田区商工業連合会ホームページ内
専用コーナーにて掲載
<https://chiyoda-shokoren.com/>

①「アキバ温故知新物語～メイドカフェ編～」を編もう

●世界に誇る「秋葉原」ならではのビジネスを生取材して、秋葉原の歴史と今を知る

「ポップカルチャー」の街として世界的にも有名な秋葉原で育まれている

「アキバならではのビジネス」を取材先として想定

・メイドカフェの実像を探るワークショップ

- なぜ、メイドカフェが秋葉原に生まれたのか？
その歴史や経緯を紐解く
秋葉原以外の各地にも広がるメイドカフェ・コンセプトカフェ文化についても調べる

・メイドカフェの運営者に突撃取材するフィールドワーク

- 秋葉原の有名メイドカフェの来歴やコンセプト、特徴を
実際に店舗運営している経営者やメイドに生取材！
オリジナルのサービスや他店との違いなど、秋葉原に根付く
「萌え」と「おもてなし」の文化を体感する

・メイドカフェの展望を記事にする

- コロナ禍を経てインバウンドが戻りつつある「秋葉原」という地域との
関わりや今後の展望をフィールドワークを通じて予見し、記事化する



②「アキバ温故知新物語～電気街編～」を編もう

●世界に誇る「秋葉原」ならではのビジネスを生取材して、秋葉原の歴史と今を知る

「ポップカルチャー」の街として世界的にも有名な秋葉原で育まれている

「アキバならではのビジネス」を取材先として想定

・古き良き電気街としての秋葉原の歴史を調べるワークショップ

- 戦後の秋葉原を支えてきた電気街の歴史や経緯を様々な資料から読み解く
- 秋葉原に多く見られる「免税店」制度など、国際色豊かな秋葉原ならではのビジネスモデルについて知識を深める

・秋葉原電気街のキーパーソンを訪ねるフィールドワーク

- 秋葉原の地で電気店を経営し、昔の電気街を知るキーパーソンに秋葉原電気街の歴史とこれからの生取材！
- インバウンド需要が隆盛する秋葉原の今昔模様と今後の可能性をインタビューする

・「電気街・秋葉原」の未来を展望する

- ラジオ部品からはじまり、家電・PC・ITテクノロジーなど「電気街」として世界的にも認知される「秋葉原」の今後とその課題を検証し、記事化する



③「アキバ温故知新物語～ニュービジネス編～」を編もう

●世界に誇る「秋葉原」ならではのビジネスを生な秋葉原で育まれている
「アキバならではのビジネス」を取材先として想取材して、秋葉原の歴史と今を知る
「ポップカルチャー」の街として世界的にも有名定

・秋葉原で育つ新しいビジネスの種を探るワークショップ

- 秋葉原で日々生まれる有象無象のビジネスを調査
- 秋葉原各所に増えているベンチャー企業のインキュベーションともなる「コワーキングスペース」に注目

・モノづくりのためのコワーキングスペースを体感！

- 新しいビジネスの種がたくさん集う、モノづくりのためのコワーキングスペース「DMM.make AKIBA」に潜入取材！
- 「DMM.make AKIBA」の仕掛け人から、その想いや来館施策などの取組を直接探る

・「シン・アキバ」なビジネスを展望する

- 「DMM.make AKIBA」から生まれているニュービジネスの萌芽を記事化し、これからの秋葉原に広がるビジネスを展望する



④「アートと企業の関係」古美術に親しむ 静嘉堂文庫美術館@丸の内

●財閥コレクションの成立と背景(歴史・来歴を調べる)

- なぜ岩崎家が美術品を集めたのか
- 他の企業も同様だったのか
- 世田谷から丸の内に(大丸有の)ことを知る

●学生層が古美術に親しむには

- 現状来館者はシニア層がメイン
- 本物の美しさ、歴史の雄大さを感じるには
- 学生プロモーション案の企画
- ・体験型、参加型の何か
- 浴衣で美術館
- 大丸有アート散策
- など



募集内容

対象者	千代田区キャンパスコンソの大学生・短期大学生 ※学部学科、学年は問いません。
募集人数 (定員)	15人 ※応募者多数の場合は選考により参加者を決定します。
申込〆切	10/5(木)
申込方法	申込フォームから https://forms.gle/PFumiGaDBPvRVqJ18
コース・取材 先の選択	申込時に参加希望テーマ・取材先(①～④)を選択していただきます。 ※テーマ・取材先は希望のとおりにならない場合があります。
申込結果 の連絡	10/12(木)までにメールでお知らせします。

10/2(月) 17時10分から(60分程度)

法政大学市ヶ谷キャンパス
富士見坂校舎 4階 F406教室

キャンパスマップ <https://www.hosei.ac.jp/ichigaya/gaiyo/map/>
フロアマップ <http://www.hoseikyoiku.jp/facilities/fujimizaka.html>

- 説明会の参加申込は不要です。
- 説明会の参加は任意です(参加しなくても「ぶらチヨダ」に申込みことができます)。
- ただし、コース・取材先、活動内容、スケジュールなどを詳しい内容を説明しますので、「ぶらチヨダ」を理解いただくために参加することをお勧めします。
- 説明会に参加せず、当日の配布資料を希望される方は、千代田区キャンパスコンソ事務局 (kyogaku@hosei.ac.jp)へお知らせください。10/3(火)にEメールで資料を送付します。

- 「ぶらチヨダ」の活動は正課外プログラムの位置づけです。単位認定はありません。
- 「ぶらチヨダ」は千代田区キャンパスコンソと千代田区商工業連合会の共催により実施します。運営・進行は千代田区商工業連合会会員企業の専門スタッフが主に担当します。

お問い合わせ

千代田区キャンパスコンソ事務局（法政大学総長室付教学企画室）

kyogaku@hosei.ac.jp

千代田区キャンパスコンソウェブサイト

<https://chiyoda-consortium.jp/>